

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)  
【**単独**・連携事業】

市町名	野木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	総事業費	900,035	1,500,043	1,100,000	500,000	500,000	4,500,078
		うち市町支出額	900,000	1,500,000	1,100,000			3,500,000
		うち県交付金	450,000	750,000	550,000			1,750,000
2	空家活用プロジェクト ぷらっとほうむCADO	総事業費	402,976	232,011	200,000	200,000	200,000	1,234,987
		うち市町支出額	380,000	220,000	160,000			760,000
		うち県交付金	190,000	110,000	80,000			380,000
3	アートでつながる街中活性化事業	総事業費		483,936	480,000	480,000	480,000	1,923,936
		うち市町支出額		480,000	480,000	480,000		1,440,000
		うち県交付金		240,000	240,000	240,000		720,000
4	野木町文化祭	総事業費		1,196,044	1,198,000	1,198,000	1,198,000	4,790,044
		うち市町支出額		1,196,044	1,198,000	1,198,000		3,592,044
		うち県交付金		598,022	599,000	599,000		1,796,022
5	ICT普及促進事業 (～R3事業名:ICT地域活性化促進事業)	総事業費	175,433	350,000	350,000	350,000		1,225,433
		うち市町支出額	155,433	0	0	0		155,433
		うち県交付金	77,715	0	0	0		77,715
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	1,478,444	3,762,034	3,328,000	2,728,000	2,378,000	13,674,478
		うち市町支出額	1,435,433	3,396,044	2,938,000	1,678,000	0	9,447,477
		うち県交付金	717,715	1,698,022	1,469,000	839,000	0	4,723,737

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり
事業主体の名称	のぎ水辺の楽校応援倶楽部
代表者の名称	松平親夫
事業主体の所在	〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木2019-3
事業主体の概要	団体の目的 のぎ水辺の楽校周辺の自然保護と周辺の環境整備を進める。 設立年月日 平成24年4月14日 構成員等 地域住民 町民 のぎ学区分館役員 退職教員 地元選出議員 元地主 他
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町水辺の楽校は国有地であり渡良瀬遊水地に隣接している。湿地植物の豊かな生態系が守られており、希少生物も多く残されている。国土交通省の「水辺の楽校プロジェクト」の対象になっている。豊かな湧水を利用しほたる祭りなども実施されている。周辺は長年放置されてきた民有地で、所有者もわからない土地が多く周辺整備の進捗状況も思わしくない。活動の拠点としている場所とその周辺は地主の善意で無償で借用している状況である。また、当水辺の楽校へのアクセスが分りにくく、入口の道路も狭いため来校者にとって障害となっている。飲料水やトイレの施設もないため来校者から設置要望も多く聞かれる。 のぎ水辺の楽校は、ゲンジホタルが棲息でき、希少植物や野生動物も数多く見られるとても貴重な場所である。この資源を活用し、今後様々なイベントやレクリエーションを行うことを通じて、地域住民の憩いの場所となるようにしていくことが必要である。
事業目的	平成21年度から国土交通省の手によりすすめられた「のぎ水辺の楽校」が、事業仕分けの影響を受け散策路だけの完成で打ち切られた。この地はかつて豊かな湧水があったことを知っていた住民の手により、湧水を利用して水路や池が作られた。ゲンジホタルの幼虫とカワニナを放流したところ、ホタルが棲息できるが確認できた。また、希少植物や野生動物も数多くみられるこの地の自然を守りながら、ほたる祭りや自然体験、キャンプ・バーベキューなどの屋外レクリエーションを楽しめる親水総合自然公園として住民が集い、健全に余暇を楽しめる場となるように整備する。
事業概要	令和4年度 ①近隣の小・中学校と連携し、児童・生徒が安全に自然観察や総合的な学習を学べる場とした。 ②水路周辺を整備し、子供たちが安全に水生動植物に触れることができるように水路散策路を整備した。 ③ホタルの採卵は、現地での自然産卵の他に6月10日から人工採卵・飼育を行った。人工飼育では約11,000匹の幼虫ふ化を確認したが、飼育約1ヶ月後に餌であるカワニナの病害菌の影響で全滅したため、今年度は人工飼育での放虫は出来なかった。自然産卵の幼虫育成は、イノシシ被害に遭わないよう侵入防止柵欄を9月18日から設置した。 ④第9回ほたる祭り(6月11、12日)と第2回ふれあいコンサート(11月12日)の実施した。 ⑤ふれあい広場の整備 ⑥竹林の伐採 ⑦生態系に配慮しつつ、老若男女が四季の変化を楽しめるような花壇を設置した。 ⑧自生している湿地生物を守るためヨシ焼き(令和5年1月29日からヨシ焼き準備、3月4日にヨシ焼き)を行った。 令和5年度 ①近隣の児童・生徒を対象とした自然観察会を実施する。 ②ほたる祭り、ふれあいコンサートの実施 ③ホタルの採卵、幼虫飼育・放虫の実施 ④池や水路周辺の安全対策 ⑤湿地植物の保護とヨシ焼の実施
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】 人を呼び込み、新しいひとの流れをつくる 【数値目標】 流入(移住・交流)人口 現状値:204,736人(令和元年度)→目標値232,000人(令和7年度) 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値76.4%(令和元年調査)→目標値80.0%(令和6年調査) 【KPI】 観光入込客数 現状値202,736人(令和元年度)→目標値231,000人(令和7年度) 野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値11件(令和元年度)→目標値20件(令和7年度)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①自然観察場の整備 ②水源(井戸)の増設とホタルの幼虫飼育放虫 ③案内板・花壇の設置 ④ふれあい広場の整備 ⑤ふれあいコンサート ⑥ヨシ焼き ⑦生態系の保護と移植 ⑧パンフレットの改正	①水路周辺の整備 ②ホタルの採卵、幼虫飼育と放虫 ③ホタル祭り・ふれあいコンサートの実施 ④ふれあい広場整備 ⑤竹林の伐採 ⑥ヨシ焼き ⑦水路散策路の整備 ⑧清水谷と稲荷谷に花壇増設	①自然観察会の実施 ②ホタルの幼虫放虫 ③ホタル祭り・ふれあいコンサートの実施 ④池や水路周辺の安全対策 ⑤ヨシ焼き		①水路の整備 ②ホタルの採卵、放虫 ③ホタル祭り・ふれあいコンサートの実施 ④ヨシ焼き ⑤竹林の伐採 ⑥散策路の整備
事業費	900,035	1,500,043	1,100,000	3,500,078	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	900,000	1,500,000	1,100,000	3,500,000	
うち県交付金	450,000	750,000	550,000	1,750,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	35	43	0	78	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	新井
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	親水公園を核にした、老若男女が触れ合いながら楽しめる緑地公園づくり	
対象年度	令和4	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	1,500,000	
自主財源	43	
計	1,500,043	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
・報償費	46,889	46,889	23,444	0	イベント2回実施、演奏謝礼5組、地主近隣挨拶品代6軒
・消耗品費	466,461	466,461	233,231	0	ホタル成虫、水槽、刈払機刃、三脚、複合機インク他
・燃料費	44,065	44,022	22,011	43	刈払機用ガソリン、オイル他
・印刷製本費	32,857	32,857	16,428	0	ホタル祭りチラシ・ポスター、散策チラシ
・通信運搬料	4,374	4,374	2,187	0	送料
・保険料	14,350	14,350	7,175	0	令和4年度ボランティア活動保険41名
・賃借料	199,100	199,100	99,550	0	
・委託料	1,290	1,290	645	0	仮設トイレくみ取り
・原材料費	342,469	342,469	171,235	0	イノシシ避けワイヤーメッシュ、アルミ製足場板他
・備品購入費	344,966	344,966	172,483	0	自家水ポンプ1台、生垣バリカン1台、複合機1台、刈払い機1台
・水道電気費	692	692	346	0	ホタル祭り電気料
・手数料	2,530	2,530	1,265	0	振込・代引手数料
計	1,500,043	1,500,000	750,000	43	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。  
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	空家活用プロジェクト ふらっとほうむCADO
事業主体の名称	煉瓦窯deマルシェ実行委員会
代表者の名称	松目 優香
事業主体の所在	栃木県下都賀郡野木町丸林396-8
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的：野木町の賑わいづくりを目的とする</li> <li>・設立年月日：令和2年10月</li> <li>・構成員等：町内在住者13名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	高齢化が著しい野木町において空家の増加も目立ち始めている。いかに空家を活用していくかというのは社会問題の一つである。また、町内に移住してきた人などが地域住民との関わりを持てるような交流の場としての拠点が必要である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもから高齢者までの幅広い人たちが気軽に立ち寄れる居場所づくり</li> <li>・居場所づくりによって人と人の繋がり、支えあう関係や多世代間交流を生み出すこと</li> <li>・住居のスキル(資格、特技)を発揮できる場所の提供(講習会、ワークショップなど)</li> </ul>
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家活用に必要な物の整備・修繕、花壇の整備</li> <li>・イベント実施 毎週1回 CADOの日(コミュニティカフェ)開催 奇数月 CADOの縁側(ワークショップを中心に駄菓子の販売等を行う)開催 偶数月 CADO de プチマルシェ(物販を中心)開催 年4回(7月26日、10月2日、11月18日、12月4日) 講師を招いてワークショップを開催 子どもの居場所「駄菓子屋CADO」の運営</li> <li>・イベント等が無い日はレンタルスペースとして活用(講習会、習い事、テレワーク等にも対応)</li> <li>・SNS(LINE公式アカウント、FACEBOOK)を活用した情報発信</li> </ul> <p>【5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家活用に必要な物の整備・修繕、花壇の整備</li> <li>・イベント実施</li> <li>・食育に関するワークショップの開催(新型コロナウイルス感染症収束後)</li> <li>・イベント等が無い日はレンタルスペースとして活用(講習会、習い事、テレワーク等にも対応)</li> <li>・SNS(LINE公式アカウント、FACEBOOK)を活用した情報発信</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標4】 ひとが集い、安心して暮らすことができる地域をつくる</p> <p>【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値74.6%(R元年調査)→目標値90.0%(R6年調査)</p> <p>【KPI】 まちづくり(ふれあいの町)の満足度 現状値24.8%(令和元年調査)→目標値30.0%以上(R6年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度		
事業内容	①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施 ③食育に関するワークショップの開催 ④レンタルスペース ⑤SNSを活用した情報発信	①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施マルシェ、地域食堂等 ③ワークショップの開催 ④SNSを活用した情報発信	①空家活用に必要な物の整備、修繕、花壇の整備 ②イベント実施マルシェ、地域食堂等 ③ワークショップの開催 ④SNSを活用した情報発信	/	空家活用事業		
事業費	402,976	232,359	200,000			835,335	200,000
市町支出金(ソフト事業分)	380,000	220,000	160,000			760,000	
うち県交付金	190,000	110,000	80,000			380,000	
市町支出金(ハード事業分)						0	
うち県交付金						0	
その他自主財源等	22,976	12,359	40,000	75,335	200,000		

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	新井
電話	0280-57-4132
連絡先 FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	空家活用プロジェクト ふらっとほうむCADO	
対象年度	令和4	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	220,000	
自主財源	12,359	イベントによる収益及び維持管理協力費
計	232,359	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源		備考	
		市町支出額	自主財源等		
		県交付金			
修繕費	33,316	33,316	16,658	0	屋根補修材料ペンキ代、門扉修理部品、水道蛇口修理部品
光熱水費	38,577	35,663	17,831	2,914	電気・上下水道代 ※空家活用プロジェクトに係る費用
燃料費	2,040	2,040	1,020	0	灯油代※空家活用プロジェクトに係る費用
保険料	11,790	11,790	5,895	0	東京海上火災保険
消耗品費	43,250	42,170	21,085	1,080	浄水器カートリッジ 庭整備(腐葉土、植物等) 事務用品(コピー用紙、他) 日用品(トイレトーパー、洗剤、消毒液等) イベント材料費
通信運搬費	46,976	38,611	19,306	8,365	インターネット回線費 ホームルーター利用料
備品購入費	37,880	37,880	18,940	0	冷風扇 タブレット端末
印刷製本費	3,530	3,530	1,765	0	掲示物印刷費 コピー代
報償費	15,000	15,000	7,500	0	講師謝礼 5,000×3回
計	232,359	220,000	110,000	12,359	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	アートでつながる街中活性化事業
事業主体の名称	のぎまちづくりネットワーク
代表者の名称	浜田 敏路
事業主体の所在	〒329-0101 栃木県下都賀郡野木町友沼4640-39
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的：私達の住む野木町を少しでも良くするため、町民の皆様と一緒に活動する。特にシニア世代の力を活かしまちづくりを協働で進め、プラットフォーム事業で町が元気になるよう努めています。</li> <li>・設立年月日：平成21年4月28日</li> <li>・構成員等：野木町在住 趣旨に賛同した方13名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町も少子高齢化が進み地域のつながりも無くなりつつあり、又、コロナ禍の影響で暗い気持ちが覆っている。コミュニケーションも不足になり、つながりも希薄、この様な中で「アート」でつながることは心を明るくし地域の活性化になると考えます。
事業目的	子供と大人が「アートでつながる」をテーマにワークショップを通じて繋がり街中に活気を取り戻す。又、ボランティア団体・NPO・きらり館とも連携しプラットフォーム事業として企画・運営、町内外より集客を図り町の活性化につなげます。 「まちおこし、人おこし、ふるさとおこし」がコンセプトであります。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. きらり館広場で子供と大人のイルミネーション 11月20日きらりフェスタでお絵かきワークショップ開催、12月10日飾り付けワークショップ開催</li> <li>2. 顔出しパネル+昔のカガシコンテストとアートマルシェ 令和4年度は実施せず</li> <li>3. 小さな美術館の開館・運営 きらり館「きらり展示館」を活用し企画展、ボランティア団体・個人の作品を展示、きらり館と連携し運営した</li> <li>4. 町巡りかるた制作と活用 名所旧跡、文化、イベントをかるたで紹介、活用した</li> </ol>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】 イベント等を開催することにより、町の魅力を広く発信する。</p> <p>【数値目標】 野木町を暮らしやすいと感じている町民の割合 現状値76.4% (令和元年度調査) →目標値80.0%以上 (令和7年度)</p> <p>【KPI】 観光入込客数 現状値202,736人 (令和元年度) →目標値231,000人 (令和7年度) 野木町の魅力の町外へのPR活動数 現状値11件 (令和元年度) →目標値20件 (令和7年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	1. 子供イルミネーション 2. 顔出しパネルコンテストとアートマルシェ 3. 小さな美術館運営	1. 子供イルミネーション 2. 顔出しパネルコンテストとアートマルシェ 3. 小さな美術館運営	1. 子供イルミネーション 2. 顔出しパネルコンテストとアートマルシェ 3. 小さな美術館運営 4. 町巡りかるた制作・活用		
事業費	483,936	500,000	500,000	1,483,936	480,000
市町支出金 (ソフト事業分)	480,000	500,000	500,000	1,480,000	
うち県交付金	240,000	250,000	250,000	740,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,936	0	0	3,936	480,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	新井
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	アートでつながる街中活性化事業	
対象年度	令和4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	480,000	
自主財源	3,936	
計	483,936	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	11,139	11,139	5,569	0	イベント参加賞
旅費	10,140	10,140	5,070	0	イベント調査
消耗品費	14,238	14,238	7,119	0	イルミ消耗品
原材料費	33,728	33,728	16,864	0	イルミ材料
食料費	9,591	5,655	2,828	3,936	打合せお茶代 (協力者への提供)
通信運搬費	1,680	1,680	840	0	通信費
備品購入費	343,420	343,420	171,710	0	イルミ購入
工事請負費	60,000	60,000	30,000	0	イルミ設置工事
計	483,936	480,000	240,000	3,936	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	野木町文化祭
事業主体の名称	野木町文化祭実行委員会
代表者の名称	実行委員長 真瀬 宏子
事業主体の所在	〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町教育委員会事務局生涯学習課内」
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的:野木町文化祭の開催事業の具体的な推進を図る。</li> <li>設立年月日:</li> <li>構成員等:野木町文化協会役員及び野木町教育委員等</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町も少子高齢化が進み地域のつながりも無くなりつつあり、又、コロナ禍の影響で暗い気持が覆っている。コミュニケーションも不足になり、つながりも希薄、この様な中で「アート」でつながることは心を明るくし地域の活性化になると考えます。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術活動に参加する町民を増やし、町民の創作意欲の高揚を喚起する。</li> <li>文化芸術の側面から町民の交流を図り、ふるさと意識の高揚と一体感の醸成を図る。</li> <li>多様化する文化芸術団体の成果発表の受け皿となる。</li> <li>町内に限らず、文化の振興に関心のある団体の情報発信・交流の場を設け、文化の相互発展に寄与する。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和4年度】</p> <p>○野木町文化祭の開催(令和4年10月22日(土)~11月3日(木・祝))【参加・交流型】</p> <p>&lt;概要&gt;</p> <p>①ダンスパーティー ②音楽会 ③囲碁大会 ④将棋大会 ⑤展示発表会 ⑥茶会 ⑦映画会 ⑧芸能発表会 ⑨模擬店等 ⑩郷土館公開展示 ⑪交流フリマ</p> <p>○集客</p> <p>町広報誌や町HP・町SNSで情報発信するとともに、庁舎に懸垂幕を設置し周知する。</p> <p>また、チラシ・ポスターを町内各所に設置する。</p> <p>近隣市町の文化協会にも宣伝し、また町外者参加型の新しい企画をPRすることで、町外からの集客を増やす。</p> <p>○来場者アンケートの実施</p> <p>改善点、来場理由(○×を見て)等を記載してもらい、次年度以降の内容検討に使用する。</p> <p>【次年度以降】</p> <p>アンケート結果から事業内容を見直し、より多くの方が参加したいと思える文化祭を実施する。</p> <p>【関係人口】I-d</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交流フリマなどを行うことにより、地域外からの出店を促し地域への継続的な関わりを構築する。</li> <li>町外者参加型の企画をPRすることで、新たな人の流れを創出する。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり</p> <p>【KPI】まちづくり(教育のまち)の満足度 現状値:0.29点(平成26年調査)→目標値:0.45点(令和元年調査)</p> <p>【基本目標4】時代に合った地域づくり</p> <p>【KPI】野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値:80.7%(平成26年調査)→目標値:90.0%(令和元年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ	各種文化事業の実施 ①映画会 ②将棋大会 ③展示発表会 ④郷土館展示公開 ⑤茶会 ⑥模擬店等 ⑦音楽会 ⑧芸能発表会 ⑨交流フリマ		
事業費	1,196,044	1,325,000	1,325,000	3,846,044	1,198,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,196,044	1,325,000	1,325,000	3,846,044	
うち県交付金	598,022	662,000	662,000	1,922,022	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	1,198,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	新井
電話	0280-57-4132
FAX	
E-mail	seikatukankyou@town.nogi.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	野木町文化祭	
対象年度	令和4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	1,196,044	
計	1,196,044	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	0	0	0	0	
消耗品費	30,554	30,554	15,277	0	テーブル類、懸垂幕修正等
印刷製本費	109,230	109,230	54,615	0	文化祭プログラム、ポスター
保険料	23,600	23,600	11,800	0	会場設営保険料
手数料等	660	660	330	0	振込手数料
委託料	592,000	592,000	296,000	0	照明・音響業務委託
使用料及び賃借料	440,000	440,000	220,000	0	映画会フィルム借り上げ
計	1,196,044	1,196,044	598,022	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合